

2014年度 入学式 祝辞

学校法人梅村学園理事長 梅村 清英

陽光うららかなる、このよき日、中京大学の学部並びに大学院研究科の入学式を迎えました。本学の母体である学校法人梅村学園を代表して、ご挨拶申し上げます。入学生の皆さんには、心よりの祝意とともに、歓迎の意を表します。また、ご列席のご父母の皆様方には、謹んでお慶び申し上げます。

入学生の皆さんの晴れやかな姿を、この壇上から眺めますと、胸の内に、こみ上げてくるものがあります。なぜなら、皆さんは、将来を期待する頼もしい後輩であり、理事長就任後、学園を代表して迎える、最初の入学生であるからです。

私は中京大学経済学部の第一期生です。今から27年前、1987年の4月、皆さんと同じ入学生の一人として式に出席していました。感慨無量であると同時に、皆さんがどのような気持ちを抱いておられるのか、という点に思いを寄せます。

多くの仲間と、ともに過ごした学生生活は、良い思い出ばかりです。彼らと別れを告げた後も、学内で研究を続け、教壇に立ち、昨年10月、第4代理事長に就任しました。重責に身の引き締まる思いで職務に励んでおります。

さて、学園の中核としての中京大学は本日、開学60周年を迎えました。その記念すべき時が、新たに策定した長期計画「NEXT10」のスタートとなりました。次の時代の教育を見据えた内容で、そこに盛り込まれた、具体的なプロジェクトが動き始めます。

キャッチフレーズは「しなやかに挑み続ける新生・中京大学」です。学内での主役はもちろん、皆さん学生です。「自ら考え行動することのできるしなやかな知識人を育成」することを、教育目標に掲げています。「しなやか」とは何か。「難局にも、くじけない、柔軟で強い」というような意味です。

本学の開学は1954年です。当初は商科の短期大学だったのが、現在は11学部、11研究科を擁する総合大学です。昨春、情報理工学部の改組により工学部が誕生したのに続き、今春、文学部に歴史文化学科を開設し、国際英語学部を3専攻体制に移行しました。絶えざる改革が発展の原動力です。

施設の整備も進んできました。名古屋キャンパスには昨春、本部棟、図書館・学術棟、工学部実験棟が完成し、開学40周年記念で建設したセンタービルとともに、中枢機能を果たしています。豊田キャンパスには、有力なフィギュアスケーターが練習を重ねるアイスアリーナもあります。

社会が、そして若者が教育に求めるものは常に変化しており、本学はそれに柔軟に対応してきました。そして今は、ヒト・モノ・カネが地球規模で動くグローバルイズムへの取り組みも重要な課題となっています。「NEXT10」では「世界をキャンパスに、キャンパ

スを世界に」とうたっています。

もちろん、本学では、2003年度の Semester 制導入など、対応は早くから進んできました。海外の大学との交換留学にかかわる個別協定校は 23 に達しています。学内での交換留学生との交流風景は日常のことです。国際センターには日本語禁止のラウンジ「サローネ」もあります。これらをさらに充実させていきます。

本学の学生は何より元気です。各種資格の取得や公務員対策では資格センター、就職ではキャリアセンターの支援と相まって、就職戦線での健闘が目立ちます。有力企業に大勢の内定者を出し、公務員では最難関の国家総合職に多数の合格者、最終的な採用者を輩出するまでになりました。卒業生に弁護士、公認会計士の肩書も並びます。

それに呼応するかのように入試戦線での地位も着実に上がってきました。そして、本日、皆さんを迎えることとなりました。本学は多くの分野で、目標とする「中部の私大No.1」の地歩を固めつつあります。このことへの誇りを胸に、これからのキャンパスライフを過ごしましょう。

さて、ここで、本学が拠って立つ建学の精神について、触れさせてください。それは創立者・梅村清光先生による「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」です。校訓は「真剣味」です。その実践として、本学を開学した初代理事長の梅村清明先生が四大綱「ルールを守る。ベストを尽くす。チームワークをつくる。相手に敬意を持つ」を定めました。

「真剣味」の真は知育、剣は体育、味は徳育を意味します。健全なる身体の前、ルールを守り、礼節を尽くした上でこそ、知力は本物となります。私は第2代理事長・梅村清弘先生、第3代理事長・小川英次先生の後を継ぎ、建学の精神の具体化、自校教育の浸透を通じて、中京アイデンティティーの確立を図っていきます。

戸外に目を向ければ、桜は満開、春らんまんです。この時期、法話などでよく「咲いた花見て喜ぶならば 咲かせた根元の恩を知れ」と聞きます。先祖を敬えという教えでしょう。それに加え、ここでは「花の美しさも、大地へのしっかりした根付きがあればこそ」というふうにも受け取りたいと思います。

皆さんには、どんな逆境にあっても、これを乗り越えられる「しなやかな知識人」「自立した社会人」となって、花を咲かせてもらわなければなりません。そのためには、専門的知識とともに、幅広い教養を身につけてください。教職員一同全力で支援していきます。

本日は誠にありがとうございます。ご健闘を心より祈念して、祝辞とさせていただきます。